

企業に応募する際最も重要なことは、「自分の考えをきちんと企業に伝えること」。

応募エントリーシートを作成する上で大切なポイントを、以下にまとめましたので、是非参考にしてください。

書いて楽しくなる自己PRや志望動機をめざそう！

自己PRや志望動機は、「どんな人がインターンシップを希望しているのか」を受入企業に伝える、大切なメッセージです。そこで重要なことは、「あなたのホンモノの気持ち」を込めること。お行儀のいい、あるいは耳に心地よい言葉を並べただけのメッセージでは、何も伝わりません。

● あなたの「興味」を自分の言葉で書く

まず、あなたが応募先やインターンシップに『『どんな』興味を持っているのか』について、目を向けましょう。『なぜ』、興味を持っているのか』と考えると、つい、説明しやすい内容を創り上げようとする気持ちが働いてしまいます。そこで、「なぜ」よりも「思いそのもの」に注目するのです。「いつも利用している店舗の裏側では、何が行われているのか、とても知りたくなった！」「社名は知らなかったけれども、身近なところで多くの製品が使われているなんて、面白い！」「就職志望企業として注目している企業なので、実際に働いている人に会いたい！ 話したい！」など、素直な気持ちを表現して下さい。企業について知っている、知らないではなく、興味や関心の強さこそが、「インターンシップで学ぶ力」を生み出すのです。

表現の際は、「何だか気になる」「知りたくて仕方ない」「どんどん疑問が湧いてきた」など、気持ちにぴったりの言葉を躊躇せずに使って下さい。

● 「私」という人間を「事実」で書く

ほとんどの学生は、自分の強みを記すことに慣れていません。言い換えれば、「私の強みはコレだ」と端的に示せる人は、社会人でも多くありません。ですから、無理して「コレ」という言葉を探そうとしないこと。自分はどうな事に心を動かされ、行動しようとするのかを、「事実」で語って下さい。無理に「好奇心」、「向上心」、「積極性」、「リーダーシップ」などという言葉を選ぶ必要はないのです。以下の2つの自己PRを参考に、表現の違いについて、考えてみましょう。

例 1: 私は好奇心旺盛な人間で、いろいろなことにチャレンジすることで、成長を求めています。このインターンシップが、そのような成長の場面になることを期待します。

例 2: 私は、新しいものや未知のものが大好きで、それらに出会うと知りたい気持ちを抑えられませんが、それらの出会いから知識や経験を獲得すると、自分が豊かになったと実感でき、さらに新しいものを求める気持ちが広がっていきます。御社ではどんなものに出会えるのだろうと想像すると、今からワクワクしています。

本当に好奇心が強いのだなと感じさせるのは、どちらの文章でしょう？ 難しい言葉を使う必要はありません。揺れや不安がない言葉を選ぶことと、実際の心の動きや活動を描写することで、相手に伝わる文章になるのです。



● 正しく、わかりやすい日本語表現を

口語的な省略表現(バイト、学祭など)や、「〜とか」の多用や誤字脱字、文法上のミスは、読み手に悪い印象を与えてしまいます。不安になったら、文字や語法の確認を怠らずに、正確な文章の完成をめざしましょう。

また、一文が長いと、主語述語の関係や、文の主旨がわかりにくくなってしまいます。一文を70字前後でまとめるように配慮すると、すっきりした文章に仕上がります。






記入内容に、具体的な内容を盛り込むことも大切です。「サークル」や「ゼミ」のことを書きながら、何をしているサークルなのか、何を学ぶゼミなのか、最後まで説明がないPR文にならないよう、気をつけましょう。

● 最後に

書きながら自分のインターンシップへの気持ちが膨らみ、楽しくなってきましたか? そうであれば読み手を惹きつけるPRに仕上がっています。楽しむ気持ちを上手に創り上げながら、書類作成に臨みましょう。

自己PR・志望動機作成のチェックポイント

(可能なら、家族や先生・友人・知人などにもチェックしてもらいましょう)

-  **CHECK 1** 応募先への興味や関心が表現されているか。
-  **CHECK 2** 自分が使い慣れた言葉の使用や自分らしい表現、事実による表現を目指しているか。
-  **CHECK 3** 誤字・脱字や文法上のミスはないか。
-  **CHECK 4** 自分だけの判断で、具体的な情報を省いたり、表現することを怠ったりしていないか。
-  **CHECK 5** 書いた後、前向きな気持ちになれたか。